



白山警察署長からも12月6日(火)に感謝状が贈呈されています。

通学中发现した迷子の男児を保護

感謝状贈呈式

12月27日(火)、野々市明倫高校1年の増田陸さんと金沢伏見高校3年の今寺彩南さんへ市感謝状が贈呈されました。増田さんは11月3日(木・祝)の通学途中、裸足で歩く迷子の4歳男児を住吉町で発見。そこに通りかかった今寺さんとともに声をかけ、男児を探していた両親と警察が到着するまで現場で保護しました。感謝状贈呈後、栗市長は「若い皆さんが温かな気持ちで行動できたことは地域の誇り。2人の行動に敬意と感謝を述べたい」と話しました。

総勢 47 人の大かるた大会！

ふじひら児童館・児童クラブ合同新年会

ふじひら児童館とふじひら児童クラブの合同新年会が1月6日(金)に開催されました。新年会では「大かるた大会」と題し、小学生47人が6グループに分かれてチーム対抗でかるたを実施。取り札は、普通のかるたから手作りの大きなものまで計28組を使用しています。部屋一面に並べられたかるたを取り合う様子は、正に“大”かるた大会の名が相応しい迫力です。自分の番以外の時間は「あそこにある！」「あっ！とられた……」とチームの仲間に声をかけ応援していました。



大会後には、参加者全員へぜんざいが振る舞われました。



絵本であかちゃんとのコミュニケーションをとりませんか？

絵本で親子の絆を深めませんか

カレードあかちゃんおはなし会

1月10日(火)、学びの杜ののいち カレードで「あかちゃんおはなし会」が開催されました。参加した6組の親子は『だるまさんが』や『あぶくたった』などの絵本に加え、紙芝居『おさじさん』、わらべうた『もちっこやいて』など福袋のようにワクワクする時間を過ごしていました。わらべうた『さよならあんころもち』で締めくくり、親子は心が満たされた様子で会場を後にしました。次回開催日は2月7日(火)です。今後の日程は、毎月の広報野々市19頁をチェックしてください。

キラリと光る才能を見つけて

障害者作品展

1月10日(火)～13日(金)、学びの杜ののいち カレードにて「市障害者理解促進・啓発のための障害者作品展」が開催されました。精神、身体、知的障害などがあり、市内の障害福祉サービス事業所を利用する約50人が参加。絵画、書道、陶芸、工芸などの作品が約70点が並びました。今年の干支であるウサギやお正月にちなんだ作品、合作の大きな作品などが来場者を楽しませました。作品を通じて障害者理解へのきっかけになった人もいないのでしょうか。



手形と足形をウサギと人参に見立てた楽しいアート作品。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

ブラスの魅力にどっぴりと

Brass Brass Brass!!

12月18日(日)、文化会館フォルテにて吹奏楽のイベント「Brass Brass Brass!!」が開催されました。午前中は、新進気鋭の指揮者佐々木新平さんによる演奏指導があり、布水中学校と野々市明倫高等学校の吹奏楽部が受講。「アンサンブルで大事なのは、全員が細かいビートを感じる。積極的に音楽をしよう」など、たくさんのアドバイスを得たブラスバンドの音はみるみる向上していきました。午後からは、吹奏楽団「かがやきブラス」をゲストに迎えてのコンサート。佐々木さんの指揮に真剣に応え、素晴らしい演奏を響かせる子どもたちの姿は、まるで一流の演奏家のように、紡ぎだされる豊かな音色に多くの聴衆は魅了されていました。

①②佐々木さんによる演奏指導③合同コンサート④ゲストコンサート(かがやきブラス)



これからの部活動のあり方

部活動における持続可能な体制づくり研修会

12月12日(月)、部活動の地域移行に関する研修会が、関係団体や保護者を対象に文化会館フォルテで開催されました。講師に、柔道男子日本代表前監督の井上康生さん(リモート参加)と金沢工業大学准教授の鈴木貴士さんを迎え、中学校部活動の段階的な地域移行について理解を深めました。井上さんは「地域移行は地域活性化のチャンス」と助言、鈴木さんは「ウェルビーイング、サステナブルという概念を大切に市の計画案策定に向け提言していきたい」と説明しました。



中学校保護者はYouTubeLiveで視聴。

市出身プロゴルファーがツアー優勝！

平井亜実さん表敬訪問

12月14日(水)、女子プロゴルファーの平井亜実さんが市役所を訪れ、2022シーズンの活動を栗市長に報告しました。平井さんは2021年のプロテストに合格して市出身者で初のプロゴルファーとなり、昨年7月に開催のステップ・アップ・ツアー「カストロールレディース」で優勝しました。栗市長から激励を受けた平井さんは「優勝はもちろん、コンスタントにトップ10入りしたい。トップツアー参戦を目指し頑張ります」と来季に向けた意気込みを語りました。



優勝杯を手に喜びの報告。来季のさらなる活躍が期待されます。